

盛岡市議会・矢巾町議会懇談会概要書

1 日 時 平成14年7月2日(火)
午後2時30分から午後3時35分(会議時間1時間5分)

2 場 所 矢巾町公民館 2階 研修室

3 出席者

(1) 盛岡市議会

議長	山本武司君	広域行政問題懇話会会長	高橋金兵衛君
広域行政問題懇話会副会長	北田正夫君	委員	堀合正民君
委員	菅野正君	委員	小枝指博君
委員	伊藤俊光君	委員	本宮秀孝君
委員	刈屋秀俊君	委員	庄子春治君
委員	青木道雄君	委員	浅沼信一君
事務局長	立花勇司君		

(2) 矢巾町議会

副議長	佐々木正雄君	議員	高橋恵一君
議員	久慈正夫君	議員	立花純幸君
議員	高橋義忠君	議員	吉田秀一君
議員	村松正夫君	議員	田口忠雄君
議員	山本繁君	議員	吉田悦郎君
議員	佐々木征一君	議員	谷村雄二君
事務局長	戸塚功君		

4 事務局職員

議事課長	阿部信一君	議事課調査係長	中村俊行君
議事課主任	松本法子君	議事課書記	加藤俊男君

5 懇談会の概要

初めに立花盛岡市議会事務局長の進行によって懇談会を開会し、山本議長及び佐々木副議長からのあいさつの後、懇談会出席者の自己紹介が行われた。

次に、立花事務局長から懇談に入るに当たり、高橋会長が進行を務める旨が諮られ、了承された。

この後、高橋会長から広域行政問題懇話会における今までの協議経過について、次のとおり説明がなされた。

- ・一昨年の12月定例会最終日に懇話会設立。

- ・半年間で10回ほどの勉強会を開催。
- ・昨年度、6市町村議会の正副議長の会議を開催。
- ・隣接町村とはこれまで、6市町村の正副議長による懇談会、滝沢村議会との懇談会、栗石町議会及び玉山村議会と個別に懇談会を開催し、そして今回の矢巾町との懇談会を迎えた。
- ・共通課題については、こちらで作成した資料（別添）にはこだわらない、矢巾町の立場での要望や意見等も出していただきたい。
- ・県の新しい総合運動公園の建設場所の問題については、議会・市長とも重大な関心を持っている。田中横道線の問題も当議会でも毎回質問される重要な問題である。
- ・きょうの話を取りまとめ、市長部局に報告し今後の対応を協議し、矢巾町議会に議長名で報告するという流れですすめていく予定。
- ・共通課題について（別添資料のとおり）

以上の説明を受けて出された意見は次のとおり。

◎佐々木・町副議長 私見を含めて冒頭に挨拶申し上げた。決してきょう同席している議員とは打ち合わせはしていないが、共通課題についてはどなたも目を通していているところである。

田中横道線のことを話をさせていただいたが、高橋会長さんからもお話があったとおりのかなか進まないというのも現実だ。そんな意味でまだまだ西側の盛岡志和線の県道昇格についても一緒にやっているわけだが、なかなか進まないわけで、きょうは貴重な時間であるので、私の方からも座をとって進めてまいりたい。

◎（矢巾町議員） 市場の新築のときには参加させていただいたが、その後行ってみるとどうも新しくなったせいか敷居が高くて行きづらくなったという感じがする。

資料を見ると、市場運営委員にも参画してほしいということも書いてあるが。前と違い自由に入れないようなシステムになっているようなので、そういったことも含めながら、もう少し行きやすいような市場にしてもらいたいと思う。

◎（矢巾町議員） 二つほどお話させていただきたいが、先ほど副議長さんが話された矢巾1号線だが、旧都南出身の議員さんがたくさんいらっしゃるようであるが、そのへんの解決方法を考えていただくのが矢巾町としてもいいのではないかと思うのが一つ。それからもう一つは農業の問題である。農協の合併というか、なぜ盛岡市が今回において一緒に中央に入らなかったのかということがあるので、そのへんについても促進していただければと考えている。

◎（矢巾町議員） きょうは遅れてしまい申し訳なく思う。どうもきょうはここに来るのが足が重くて、それでも重い足を引っ張ってきたという状況である。

というのも御承知のとおり広域行政の課題といえば、やはり何だかんだいってもその中の選択肢として合併問題も含まれている。おとといだが、矢巾の川村町長も含めて、周辺の6市町村の広域検討課題があったようであるが、やはりその中でも桑島市長は合併の話をしているようである。そういうことで私は合併と広域行政は別な次元の課題だと思う。

しかし旧都南村の合併の経過を見ると、盛岡市の市政調査会からの働きかけというのは、広域行政について検討をしないかという中で、突如として合併のこともしないかという話に切り替えられていったという経過があった。そういう意味で私は皆さんとこういうテーマで話し合いをするというのは、警戒しながら臨まざるを得ないというのが率直なところである。だから広域行政と合併は次元が違うということを前提にしてきょうは話をしたいと思っている。

◎（矢巾町議員） ちょうだいした共通課題の一番最後に築川ダムと載っているが、総務常任委員会でも調査したところであるが、中味を見ると我が町はだんだん水不足になるという表現かなと思っているが、報道関係などを見て盛岡市の築川に対する力の入れぐあいなどをお聞きしたい。

◎（矢巾町議員） まず一つはこの共通課題の目次からいうと旧市場の跡地であるが、私も2日に1回は歩くところであるが、オムニバスの拠点が来るといのは新聞で見ているが、それだけでももっともっと用地があるだろうし、何か大きな都南地区の施設が建設されるのかな、まさか住宅地ではないだろうと思うし、そういった意味で将来像をお聞かせ願いたい。

道路問題で恐縮だが、田中横道線というのは大沼線につながるわけである。私は新しい市場ができた赤林という地域だが、市場に関連する道路というのはたくさんある。田の真ん中にできたって来る道路がないということである。赤林と赤林の下のがつけというところに行くことになって、あそこは釜淵線ということになるが、狭くて、大型自動車がくると恐いので走らせないということになった。

要は一般県道の県道不動盛岡線というのは流通センターから下がってきた道路にぶつかる場所があるが、あそこをまっすぐ行くのが赤林横道線である。あれができれば南から来る人が市場に入るのにその道に行くのが一番いいわけである。1キロ少しの所である。これについては買収価格の差があつてすったもんだしながら盛岡の市道にさせていただいた。

地権者の方々によくいつごろどうなるのかと聞かれて、私もわからないと答えるしかなく、その辺がどうなっているのかお聞きしたい。

それと、そこの市場から考えると手代森・乙部の方から来るのに、西見前を通過して貨物駅のところに来る道路も計画道路になっている——西見前なんか線だったと思うが——計画道路である。搦手線を通過して来る道路がある。あれがあれば市場に来る人は便がよくなるだろうと。市場の話が出ていたが、前よりは変わってきていると感じるし、赤林横道線ができれば雫石から来る人たちも入りやすいし、南の方から来る人たちも入りやすい。

もう一つ西見前の関係についてもさっき言った貨物駅の北側に出る道路があれば、これ

で全体的によいのかなと。あとは盛岡から来るのは西仙北北川線だったか、いずれ2本通る計画道路があるわけだがそうすれば非常に格好のいい問題になってくると思っている。これらは新市場の盛り上げのための要望ということである。

もう一つ市場の関係で、ビッグプロがある。あれは盛岡市さんで貸してやっているわけだと思うが、あそこが会員でなければ買えないという看板を掲げているが、実際はそうではない。地域の人たちも、それから私も今持っているが、黄色いカードを持って行って買っている。あれをもっと宣伝しなければ盛岡市も困るだろうと思うが、確かに安いからいいわけだし評判もいいわけだが、一般の人は買えませんと。法律でそうやらざるを得なくてやっているのは重々承知しているが、それだけで(採算が)合わなければどうなるのかなと。企業としてもあると思うので、その辺のところも聞きたい。

それから先ほど隣の総務常任委員長が築川の話をしたが、我々も行って勉強させていただいて、当初340億円だったのが倍になって670億円だと。矢巾の持ち出しが5億円から10億円になった。その試算からみれば盛岡市は32億円あたりが64億円くらいになっていると思う。比率が9.5%なはずだから。そこら辺のところ、県がやることだが、今あちこちで脱ダムという騒ぎが出ているが、そういうような問題が盛岡市ではないものかお聞かせ願いたいと思う。

◎(矢巾町議員) 一言で言えば遠くなったなと思っている。昔は結構盛岡に行った。今は盛岡に行く機会というのは何のときかなと考えたが、この間メトロポリタンに電車に乗って久しぶりに行ったが、電車に乗るのも1年に1回あるかないか。用足しでも県庁に行くくらいかなと。あとはほとんど地元で間に合うというような状況である。病院だけは盛岡である。友愛病院や日赤病院と。しかし矢巾に今度医療施設ができるというような話もある。そうすると学校もあるし福祉関係も知的から老人の方までそれぞれあるので、そちらの方で行くこともないなということを感じている。

矢巾は米を守って野菜で成長というのが目標である。やはり米がないと田園風景にならない。そこで米はとにかく守ると。あとは補助的には野菜で成長するというので今、この小さい町で億の目標を立ててやっているが、それだけでは大変なのできんたけ類。それから畜産、リンゴ、柿と。施設園芸は金がかかるためとてもじゃないが採算を合わせるのは大変だと。市場価格の変動に対応できるのは野菜ということをやっている。

◎(矢巾町議員) 市場の関係については矢巾町議会でも両論があるが、計画当初から、公設官営という名を借りた公設ショッピングセンターをつくるのかというようなニュアンス的な部分も感じられるわけで、発足当初から市の方でその辺の考えをどう持っているのかということをお教えいただきたいと思う。

もう1点は今雇用の関係が悪いわけで、こういう問題こそ広域の中で取り組んでいく必要があるのではないかと。確かに県レベルで考える問題かもしれないが、実際近隣、矢巾町は昼夜の人口がほとんど変わらないという状況であるが、それでも学生も入っているので、若干就職は盛岡市の方に行っている方が多いわけで、そういう一つの背景を考えた場合に

も、お互いに広域の中で雇用を創出できるような取り組みが必要ではないかなと。

委員長は盛岡にさっぱり行かなくなったというが私はしょっちゅう行っている。しかしいろんな話を聞いていても、ここにおられる議員さん方はしょっちゅう矢巾の方にも来ておられると思うが、皆さん以外の議員さん方は矢巾・滝沢・紫波町等に行く機会が少ないのではないのかなと思うので、ぜひこちらの方にも出向いていただいて実態を理解してもらえなという感じもないわけではないのでよろしくお願ひしたい。

◎（矢巾町議員） 先ほど矢巾の副議長がしゃべっていたが新総合公園、これは矢巾町が一番先に手を挙げて県の方にお願ひしていた。隣町の紫波町、あるいは滝沢村や雫石町の懇話会の皆さんがどのようなお話をしておられるのか、あるいは盛岡市議会の皆さんはどのように考えておられるのかお聞きたい。

◎（矢巾町議員） 3点お願ひしたい。

今委員長が話したことに関連するが、運動公園について委員長とは別の角度である。副議長の話では盛岡市さんも大変応援してくれればということであるが、矢巾町で誘致したことにおいては、盛岡市の議員さん方はどのような応援方法を考えているかということをお伺ひしたい。

それからきょうの懇談会の呼びかけだが、聞いたところによると盛岡市さんの方からちよっかいを出されたということであるが、私もなんとなく足が重い感じで参ったわけだが、きょうの懇談会の目的というのは何だったのかということを考える。

私は4号線沿いに住んでいるが、仙北町を通って杉土手、菜園、盛岡駅というのが最短コースなわけであり、仙北町の拡幅の見通しがどうなっているのかお伺ひしたい。

◎（矢巾町議員） 私見を含めて二、三お話をしたい。

合併問題については先ほど話があったが、やはりマスコミにあおられていろいろやるのではなく、慎重にやらなければと思う。有権者に夢を与えないかたちでの合併は問題がある。禍根を残すのではないかなと思うので慎重にやるべきだと思っている。

それから共通課題のところだが、農業振興の部分で私も岩手中央農協の部会の部分で二、三かかわりを持っているが、特に都南の問題、それから紫波町も関係あるがそれぞれ農協の事業として同じ様にやりたいと思っても、市町村の補助事業等が市町村によって違う。そうなるばらつきが出てくる。例えばキノコの部分で言うと都南もあるし、盛岡市も今矢巾に来てキノコを一緒になって出荷している。そうなってくると生産者で交流があっても市町村の補助事業が違うから、できるだけ生産者の立場に立った補助事業も推進してもらえばと。盛岡市から見れば農業問題はそんなに力点を置く問題ではないかもしれないが、いずれそういったことも必要なのではないかなと感じている。

それからきょうの資料には載っていないが、その他の共通課題もあると思う。福祉の問題にしろ何にしろ。それらも出してもらえればよかったのかなと思う。

◎(矢巾町議員) 先ほど仙北町の交通事情の話にふれたが、私徳田に住んでいるが、極端な渋滞のときは旧徳田農協まで渋滞が続いている。一番先の車は何をしているのかと思うわけだが、その車が走れば尻も走るにいいわけだが、多分一番先頭の車は盛岡市だと思うが、やはり盛岡市内の交通渋滞の緩和というのが、鶏と卵の関係で難しい問題だと思う。

徳田地区の渋滞をみると盛岡に行くのが嫌になる。地元でほとんど用を足せるから盛岡には行かないということになる。広域を考えた場合、もう少し渋滞の解消に知恵を絞って工夫すべきと思う。

◎高橋・市会長 盛岡に対して日ごろ思われていることをいろいろとお話いただいたわけだが、具体的な対応については後ほど書面で回答できるような形に持っていきたいと思うが、きょうは議長も、それからそれぞれの地域で今話しが出た課題に議員の立場で取り組まれている盛岡の議員もいるので、それぞれの立場から発言をさせていただきたい。

まず総合運動公園と仙北町の拡幅問題については最近統一陳情等で議会も一緒に知事の方をお願いしている経緯もあるので、これについて議長の方から。

◎山本議長 運動公園の件だが、滝沢村・雫石村・玉山村と勉強会をやり、玉山村さんから前回、応援してくれという御意見が出た。盛岡市議会として矢巾町さんにどのくらい協力できるかという話だが、一番最初に玉山村さんから声をかけられたものだから、協力しますとお話をしてきた。ただこの部分は将来盛岡市にとっても大切な施設であるので、岩手県全体の問題なので、この部分は今後議会で協議したいと思う。また私も議会と昆議長と一緒に県の方をお願いしに行くという場合にはぜひ御同行させていただきたいと思う。できる限りの応援はしたいと思う。

仙北町の拡幅だが先月中旬に岩手県知事への実行運動ということで、本来県庁に行くところだが、仙北町の明治橋の所に増田知事に来てもらい現状を見てもらった。そしてそのとき、地権者である岩手川の社長さんもおり、いろいろ詳しい話もした。その中で岩手川さんとすれば、あそこの場所にはいろいろ郷土のものを飾る施設等をつくりたいという話もあったし、また鉾屋町の方に第二工場というのがあるので、そちらの方に移転してもいいというかなり前向きな話もあったので、ここ数年少しとまっていたが、かなり前進するのではないかと考えている。

◎高橋・市会長 それから盛岡選出の県議会議員との懇談会があった際に、県議会議員からは新しい運動公園は盛岡市長としてはどのように考えているのかという質問があったが、その中で市長が一番情熱を持って御相談にいらっしゃるところは矢巾町さんだと答えていたので、そのような発言があったということを紹介しておきたい。

それから懇談会の目的は何なのかという質問があった。盛岡市議会の広域行政問題懇談会を設立する際に、すべての会派から——党派を含めて——いろんな方々に参画をしていただいている。端的に申し上げると合併に賛成の会派もあれば、大反対のグループもある。

そういうことで、この懇談会の目的というのは合併というものを想定しないで、もっとも広域的な問題で、それぞれの議員が自分の選挙地盤で支持者からの陳情や要望を受けていることを解決していくのが、最終的には広域行政の問題解決につながっていくのではないかという立場である。

行政区を隣接する立場にある議員というか、そういう議員が盛岡の場合たくさんいるわけで、例えば矢巾町さんと行政区を隣接する議員にも入っていただきながらとか、滝沢の場合は滝沢さんと行政区を隣接する議員さんに入っていただくとか、それぞれ共通の問題意識を持った議論をしていけば、問題意識は両議会とも同じではないかということから、この共通課題の立ち上げをしたわけである。

そういうことで、懇談会の目的についてはあくまでも、それぞれの立場での行政区を隣接する行政課題について取り組んでいけばおのずと広域問題は促進できるのではという目的である。

きょうは都南地区出身の議員も3人来ているので、市場関連道路とか田中横道線の問題とか、赤林線の問題とかいろいろ出たが、どなたか発言は。

◎（盛岡市委員） 先ほど出された市場に通じる道路の問題であるが、西見前永井線という計画路線があるが、盛岡市の現在の都市計画道路の10ヵ年計画ではこの10年間手がつく計画になっておらないのが現状である。それから田中横道線の延伸だが、これは盛岡では津志田白沢線という路線名で呼んでいる。矢巾町さんの方では境の所までこの間完成されたが、これからつながるのは都南のキャラホールにの所に来る道路であり、ここは実はキャラホールから南側が土地区画整理区域に入っており、盛岡の土地区画整理事業というのはその区域は現在全く見通しが立たないという現状である。したがって市の方では土地区画整理事業は飯岡駅から都南の総合支所に通じる一帯に着手が始まったところで、計画では10年くらいということだが、そのとおりにいくかどうかということで、これがめどが立たないと次のところにいけないということで、これもまだ見通しが立っていない現状である。

西見前赤林線については区画整理とは違うが、これから10年間の都市計画道路の計画を立てて優先順位をつけ、その中で残念ながら10年間の計画に入っていないというのが現状である。

矢巾町さんの地域について市道認定をさせていただき、これの道路計画についてはということだが、これは3年計画で完成という予定であるから、買収がいつからかということとはちょっと存じ上げないが、ことしから3年計画だったというふうに記憶している。

共通課題で福祉問題というお話があったが、私がいま一番関心を持っているのは介護保険の第二次計画において、盛岡においてもそれから矢巾町さんにおいても施設入所に対する待機者が非常にふえている現状のもとで、県の区域だと施設計画は盛岡と矢巾は一緒のプールというふうになっているので、この施設については見直しをしてベッド数はふやしていただくということは大事な共通する課題だと思っている。

◎（盛岡市委員） 市場の跡地の話が出たが、今オムニバスタウンでミニバスターミナ

ルを整備している。後、地元の方で福祉施設をつくってほしいということで若干の福祉施設をつくった。あともう一つは新幹線沿いに、現在野田踏切というところで止まっている道路を、岩手飯岡駅まで延伸する。その三つの用地以外を一応売却して新市場の建設費に充てていきたいというのが市の統一見解である。これは本当は3月の年度内に公表する計画だったがちょっと遅れており、6月も発表できなが、いずれ近い時期に市場の跡地利用については市の方から公表されるという予定になっている。

◎（盛岡市委員） 単刀直入にお聞きする。流通センターのところだが、短く言えば、盛岡市の冠をつけたい。前の前の谷村町長の時代からずっとやってきて、町長さん代わってから冷え切っているような感じだが、いずれ流通センターにしてみれば紫波郡矢巾町では客に対する信頼度が薄くなるということから、盛岡市流通センターという名前に変えてほしいと、私も言われているが、私は市長に単刀直入に分町合併もやむを得ないのではないかという話をしている。せっかくの卸売業者があそこに集まってそういうハンデを背負いながら仕事をしているわけで、言いづらいことかもしれないが、そのへんの矢巾町議会さんの取り方。そういうハンデを乗り越えたいと、一方では考え方があると思う。

どうしても矢巾町ではちょっとなど。そのいい実例があるが、今スコール高校になっているが前の向中野学園の校長が大阪の方だった。湯沢団地に住んでおり、あそこも前都南村だった。そういう名前でも、大阪の方からしてみれば村とか町というバスで3時間も4時間もかかるというイメージのため、誰も来てくれないと。で結局その校長先生は大阪に帰ってしまったと。同じ様なことが流通センターでも商売うまくないということがあるので、そういうことの解決手段というか、どのようにお考えになっているのかお聞かせいただきたい。

◎（矢巾町議員） 村とか町とかいう名前がだめだということ、嫌われていると。紫波郡はたった二つだ。意味がない、紫波郡なんてつけても。だから郵政局で郡とか町を取った方がいいと思う。岩手県流通センターというふうに住居表示をやれば問題ないと思う、名前にこだわるのであればだが。だから岩手県流通センターあるいは岩手県盛岡南流通センターなんていうので住所を全部できるのであればそちらの方が早いのではないか。合併して盛岡市になるというものよりも。そういう考え方もあるのではないかと思っている。

◎高橋・市会長 それでは、あと大体5分時間があるが、まだ質問があるようなのでどうぞ。

◎（矢巾町議員） 道路とか市場の関係等、地域の問題は各議員から出たが、私は介護保険の問題について、先ほど庄子議員さんからも出たが、私も介護保険施設のベッド数不足、待機者の解消の問題というのは日ごろの議員活動の中でも盛岡と共通する課題として取り組んでいかなければならないと思っている。

矢巾町で現在、施設に入りたくても待っているという待機者は約24名いる。盛岡市では

三桁の数字だったと思う。今見直し作業がされているわけだが、その中で特養老人施設について矢巾町でこれから34床ふえるという計画である。

盛岡の計画ではどれくらいのベッド数がふえるのかわからないが、あまり期待できない数字なはずだ。そうすると盛岡と矢巾の待機者の合計で言えば、とても今の見直しの作業の中では全員入れる見通しが無いというのが現状である。それと絡めて、建設する人達というのは土地を買う分については国からの助成が一切ないわけで、自分達の金で建てなければならない。そういう点では盛岡市に建てるよりは土地を少しでも安い矢巾町、矢巾町の中でも南の方という所に来てやらざるを得ない。そうすると盛岡市民は不幸だと思う。合同の広域行政の中で対応しなければならない課題だと思う。

◎高橋・市会長　それでは、最後に議長の方から所感を述べさせていただきたい。

◎山本議長　市場関連道路の促進というのは全くそのとおりだと思う。あすは岩手県議長会13市の議長が国土交通省に行く。あさっては盛岡市として市長とともに国土交通省に実行運動に行く。市長には強くこの件を申し入れたいと思うし、またきょうたくさん出てきた問題の部分は各担当部の方に検討させて、早目に議長さんに答えをお返ししたいと思う。

また築川ダムの建設だが、金額がふえる問題があったが20年後、30年後、孫・子の代まで将来を考えて決断するべきではないかということで、盛岡の議会でもそのような意見がたくさん出ているので、なんとか金がかからなくて皆が将来安心できるようなまちづくりをしていきたいので、御協力のほどよろしくお願ひしたい。

◎高橋・市会長　道路問題については議会ごとにいろんな意見が出されているし、議長からも今話しがあったが、あす・あさって市長と一緒に統一陳情に行く。その席で正副議長から今のことも強く申し入れながら改善を図っていただくように努力する。

それから今さまざまな問題が出されている。例えば市内の交通渋滞の緩和策、盛岡市を取り巻く町村の実態をよく見ていただきたいという意見、雇用の創出についても広域で考えるべきで時代であるとか、農業問題についても市町村で補助事業の整合性が必要ではとの意見も出された。それから農協の合併促進に向けての改善策はどうかとか、市場についていわゆる公設のショッピングセンター化ではいけないのではないか、新しい市場は敷居が高いというような意見、いろいろ今お答えできなかった部分で御意見が出ているので、このことについては今まで発言があった部分も含めて、書面で議長さんの方にお答えできるような準備をしていきたいと考えている。

今後の進め方だが、きょう出された意見を市長の方に報告し、市長の方から回答をいただいて、私どもの議長名で矢巾町の議長さんに回答申し上げるという形にしたいと思うが、それでよろしいか。(異議なし)

次回の懇談会の進め方だが、正副議長で調整し進めさせていただきたいと思うがよろし

いか。（「改選になるが」と呼ぶ者あり）

私どもも改選だが、そういうことで進めたいと思うがよろしいか。（異議なし）

大変時間のないところで一方的な会議の中身になったが懇談会については以上とさせていただきます。

盛岡市議会・矢巾町議会懇談会の意見等 (平成14年7月2日開催)

【企画関係】

項 目	共通課題	意 見 等	備 考
1 交通政策	(1) 国道4号の交通渋滞の緩和	・極端な渋滞のときは、旧徳田農協まで渋滞が続いている。多分先頭は、盛岡市だと思う。広域を考えた場合、もう少し渋滞解消に工夫をすべきだと思う。	

【保健衛生関係】

項 目	共通課題	意 見 等	備 考
1 介護保険	(1) 介護保険に係る施設入所待機者の解消	・矢巾町では、見直し作業が進められているが盛岡の待機者数も含めれば、なお施設は不足している現状である。 施設を建てようとする、土地購入分には国からの助成がないため、土地が少しでも安い矢巾町の南の方に建てるしかなく、盛岡市民には不便だと思う。合同の広域行政で対応しなければならないのでは。	

【産業関係】

項 目	共通課題	意 見 等	備 考
1 農業振興	(1) 農協事業への補助制度	・農協事業として、それぞれの農協で同じように思っても市町村によって補助事業等が違う。生産者の立場にたった補助事業の推進が必要では。	
2 中央卸売市場	(1) 行きやすい市場に	・市場運営委員にも参画と書いてあるが、前と違って自由に入れないようなシステムになっているようなので、行きやすい市場にしてもらいたい。	
	(2) ビッグプロについて	・一般の人は購入できないかのようにになっているが、実際は購入できる。法律のこともあるが、安くて評判もよく、もっと宣伝できないものか。 ・市場については矢巾町議会でも両論がある。計画当初から公設ショッピングセンターをつくるのかというようなニュアンスも感じられたが、市はどういう考えなのか。	

項目	共通課題	意見等	備考
	(3) 旧市場跡地について	・オムニバスタウン計画の拠点施設というのは聞いているが、それ以外はどうなるのか、将来像を聴きたい。	
3 雇用施策	(1) 雇用の創出	・広域の中で雇用の創出ができるような取り組みが必要ではないか。	

【建設関係】

項目	共通課題	意見等	備考
1 道路	(1) 田中横道線について	・なかなか進まないのが現実だ。	
	(2) 盛岡志和線の県道昇格について	・なかなか進まないのが現実だ。	
	(3) 中央卸売市場の関連道路について	・赤林横道線ができれば、雫石から来る人も、南から来る人も入りやすくなるが、いつごろできるのか。 ・西見前赤林線、西仙北北川線の計画道路ができれば非常に格好がよい。新市場を盛り上げるための要望である。	
	(4) 仙北町の拡幅について	・仙北町の拡幅の見通しはどうなっているのか。	

【水道関係】

項 目	共通課題	意 見 等	備 考
1 上水道	(1) 築川ダムへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市の築川ダムに対する力の入れ具合は。 ・築川ダムについては、当初の経費が倍増し、各自治体の持ち出しも倍になっている。今あちこちで脱ダムの問題が出ているが、盛岡市では問題になっていないか。 	